

# 試合会場レポート

[試合番号]E4

[開催日]2011/05/15

[会場]筑西市下館総合体育館

[観客数]1000

[開始時間]13:42

[終了時間]14:54

[試合時間]1:12

[主審]松延 亮一

[副審]高橋 賢司

[記録員]井坂 友典

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校

監督：石崎 吉宏

コーチ：牧内 梓

|   |    |                 |    |   |
|---|----|-----------------|----|---|
| 2 | 24 | 第1セット<br>【0:22】 | 26 | 1 |
|   | 25 | 第2セット<br>【0:14】 | 8  |   |
|   | 28 | 第3セット<br>【0:30】 | 26 |   |

東洋大学附属牛久高等学校

監督：鈴木 敦子

コーチ：高橋 美樹

【 】内はセット時間

## 戦評

決勝は新人大会決勝と同じ、土浦日本大学高等学校と東洋大学附属牛久高等学校の対戦となった。

第1セット立ち上がりサーブ・ブロックで連続得点を重ねる東洋大牛久を土浦日大が追いかける展開となった。一気に引き離したい東洋大牛久であったが土浦日大の強いサーブにおされ、14-14と追いつかれる。サーブレシーブで乱れた東洋大牛久は劣勢にまわりミスが目立ち始めたところで2回のタイムアウトを使い切る。ピンチサーバー東洋大牛久9番稲葉の活躍で追いついてきたところで、土浦日大も2回目のタイムアウトを使い切る。土浦日大5番青木葉のスパイクで23-20と引き離すが、東洋大牛久の粘りのレシーブから東洋大牛久3番成島の活躍により23-24と逆転でセットポイント。土浦日大2番赤津の速攻により24-24となるも、粘りの東洋大牛久が多彩な攻撃から25点目をバックアタックで、最後は東洋大牛久7番諏訪のスパイクで先取した。

第2セット東洋大牛久は固くなったかブロックアウトを狙ったスパイクがことごとくアウトとなり、序盤で8-3と土浦日大がリードを奪う。土浦日大1番鈴木フェイント、ブロックが効果的に決まり11-3と連続ポイントで2回のタイムアウトを使い切り、土浦日大ペースで25-8と一方的にこのセットを取り、フルセットとなる。

第3セットは序盤から終盤まで一進一退の攻防が続く。土浦日大は2番赤津・5番青木葉の活躍により得点を重ね、東洋大牛久は5番石川の好レシーブや3番成島の攻撃で応戦する。終盤までもつれた試合は土浦日大1番鈴木フェイントのブロックで24-22とマッチポイントを握るが、東洋大牛久の粘りのレシーブから3番成島の切り返しなどで24-24と追いつく。ブロックにより東洋大牛久が逆にマッチポイントを握るが土浦日大も粘りのレシーブから3番赤津の高さのあるブロック、スパイクで28-26と土浦日大がねばる東洋大牛久を振りきり優勝を決めた。